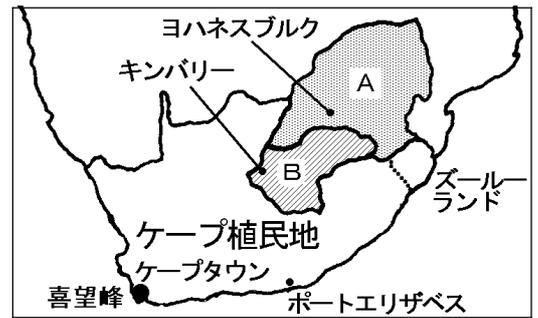


くはブル戦争、ボーア戦争などとも言った)。①②のブル軍は激しく抵抗し首都陥落後もゲリラ戦術でイギリス正規軍を翻弄した。

※ 旧オレンジ自由国、キンバリーにある露天掘りのダイヤモンド鉱山跡は「欲望の穴」と呼ばれている。1871～1914年の間に、2722キロのダイヤモンドを採掘。直径500mのほぼ円形で深さは1,097m、周囲1.6km、底部には雨水が貯まり水深150m。どんなにたくさんのダイヤモンドを産出したか想像できる。この地は、当初、オレンジ自由国の領域にあったが、まさきにイギリスに奪われた。正誤判定で、「オレンジ自由国のキンバリー」となっている誤りではない。

《蛇足》「ダイヤモンドに目がくらみ」とは、尾崎紅葉著『金色夜叉』の中で、婚約者だった宮（みや）が大富豪の家に嫁ぐと知った貫一が宮をなじった台詞でもある。さらに貫一は宮に、「来年の今月今夜のこの月を僕の涙で曇らせてみせる」と名台詞。舞台となった熱海の海岸には今も「お宮の松」がある。明治以降、日本でもダイヤモンドは富の象徴であった。



エ) この戦争に忙殺されたイギリスは、義和団の乱鎮圧後も中国東北部を占領して極東において南下を実現しようとするロシアを止める余裕がなかった。そこで極東の新興国日本と対等の軍事同盟である【14: _____】を結び(1902)、日本はこれに依拠して日露戦争 1904-05 を戦った。

オ) 南アフリカ戦争に勝利したイギリスは1906年、ブル人、バントゥー族への優越を前提とする自治権を与えて懐柔した。これが【15: _____】(人種隔離政策)の起源である。1910年、イギリス連邦内の自治領として南アフリカ連邦が成立。1961年、共和国となってイギリス連邦から離脱したが、アパルトヘイト政策は続行され、長期にわたる粘り強い運動と国際世論の力で、1991年ついに撤廃された。

カ) ブール人を制圧しつつ入植したイギリス人は、サトウキビ農園を営み、植民地のインドから契約労働者を導入した。その子孫たちは、後の南アフリカ共和国でインド系社会を形成した。

4) 1905年から続く自由党内閣が制定した2つの法律は重要である。

①【16: _____】 1911年 アスキス内閣(自由党)が労働党※の協力を得て制定。その時の蔵相はロイド=ジョージ。労働者と雇用主の共同積み立てに基づく疾病保険と失業保険を設立する法律である。

※ 労働代表委員会(1900)を前身として労働党が結成された(1906)。

②議会法 これも1911年、同じアスキス内閣(自由党)

予算案を含む財政法案と、下院で3会期可決された法案に対して、上院の拒否権を廃止した。この法案は上院でも僅差で可決された。いわゆる「下院の優越」が確定した。

5) アイルランド

これも自由党アスキス内閣の時期に、【17: _____】が制定された(1914)が、第一次世界大戦の勃発で実施は延期された。アイルランド独立を要求する【18: _____】(1905年結成)は、アイルランド自治法の実施延期に抗議して、1916年4月ダブリンで【19: _____】を起こしたが鎮圧された。

フランス

第三共和政

No.133の「第三共和政のフランス」1)～3)を参照せよ。

1) 大不況の1880年代には、植民地拡大政策が実行され、No.133で述べたようにインドシナ、アフリカに大植民地を建設、資本力を武器に帝国主義政策を追求した。ビスマルク体制下では孤立を余儀なくされたが、1890年代以降、露仏同盟(1894)でフランス資本のロシアへの輸出を可能にし、英仏協商(1904)でドイツに対抗した。

2) 議会政治への不満が噴出、労働運動や社会主義運動が高揚した。

1889年、ドイツに対する復讐の気持ちを利用し軍部独裁を企図した【20: _____】将軍によるクーデタ未遂事件があった。保守派と一部軍人が着手したが将軍本人が途中で降りて、ベルギーに亡命し、未遂に終わった。議会主義を否定、労働組合の直接行動で社会変革を図る急進的な【21: _____】もこのころから出現した。1905年に結成されたフランス社会党がこの運動に対抗する。

3) 排外的ナショナリズム、とりわけ反ユダヤ主義の台頭を見た。1882年の金融恐慌で多くの投資銀行が破綻し、貯蓄をなくした人々は、金融界を主導するユダヤ人に対する憎悪をつのらせた。これを利用して世論を誘導する意図で、当時フランス陸軍参謀本部に勤務していたユダヤ系軍人のドレフュス大尉は、まったく事実無根のスパイ事件をでっちあげられ逮捕された。これが【22: _____】事件(1894-99)の発端である。1896年に真犯人が見つかったのに終身刑のままであった。文学者【23: _____】が批判し、世論が高揚する中、1899年に特赦、1906年に無罪となった。この事件がドレフュス大尉の冤罪を明らかにするという形で決着した時、王党派と結んでいたカトリック教会の権威も大きく傷ついた。2010W法 この事件を契機に20世紀には共和主義が国民に根を下ろした。この底流が第二次世界大戦中の国民的抵抗運動に結びついていく。またユダヤ人ジャーナリスト【24: _____】がシオニズム運動を提唱する契機となったのもこのドレフュス事件である。《出題例あり》

4) 20世紀初頭、【25: _____】(急進共和派、ドレフュス事件を契機に結成された)が主導権を握った。

①政教分離を实行 【26: _____】制定(1905)以降、国家と宗教の分離がフランスの基本方針となった。

ナポレオンがローマ教会と結んだ【27: _____】(1804)は破棄され、宗教に対する国家の干渉は禁じられ、宗教の自由が保障された。宗教に対する国家援助は禁止され、聖職者の政治活動は禁じられた。教育の世界においても、公教育の世俗化(無宗教性)が徹底されることになった。

20世紀末～21世紀、ムスリムの女子生徒が髪を覆うスカーフをして登校することの是非が問われている。

②いわゆる社会政策を行った。

③1912年には、【28: _____】を保護国化した。

5) 20世紀はじめ、フランスはヨーロッパ最大の【29: _____】の生産国で輸出国となった。